

実際にこんなことを 行います

重点プロジェクトを3つ設定し、
実証実験を進めます。

①新産業創出

災害時拠点活用プロジェクト
久田見地内における太陽光、木
質バイオマス、水素製造、産業施
設への電力や熱の供給（ハウス栽培
などを計画）

②災害時拠点活用プロジェクト

八百津地区（役場周辺）を中心と
した施設への災害時の熱や電力の
供給実証実験

③個別施設省エネプロジェクト

杉原千畝記念館を中心とした個
別施設における省エネ化実証実験



役場前の実証実験施設の紹介



災害時等に電力等が停止したと
きは、災害対策本部の機能を維持
するためにも、複数の手法による
エネルギー確保が必要であり、現
在の非常用発電設備に加え、設置
を行うものです。

設備の内容は、太陽光発電設備
（5・76 kW程度）、蓄電池（15・6 kWh）、
貯水機能付き給水管（タンク1.5 m³）、
エコキュートと水素発電設備です。
役場にお越しいただいた際には
ぜひご覧ください。



実 施を検討していく事業

- 水素製造施設
- 木質バイオマス施設
- ハウス栽培施設への熱供給
- 太陽光発電設備の効果的な導入
- 温浴施設
- ペレットストーブの導入
- 災害時の対策本部施設の機能確保※1

※1 平成28年度において実証実験
施設を役場防災センター前に
建設しました。

以上の事業などについて、導入を
検討しています。

今 後も再生可能エネル ギー活用に向け、取 り組んでいく予定ですの で、みなさまのご理解を お願いいたします。

